

# さくらづか

(めざす子ども像)「じぶんがすき」「なかまとともに」「ゆめがいっぱい」

あけまして おめでとう ございます。  
本年もどうぞよろしくお祈りします。

桜塚小学校 教職員一同



3学期が始まり1週間が過ぎました。子どもたちは、朝から友だちと楽しい話をしながら、寒さに負けず元気よく登校しています。3学期も休まず登校できるといいですね。

始業式では、2学期の終わりに、終業式や12月31日の大晦日はたくさん褒めてもらう日、自分でたくさん褒める日と伝えただけでできましたか?と尋ねましたが、「すっかり忘れていた。」「どうだったか覚えてない。」…などの声が返ってきました。おそらく、冬休みを楽しく過ごしていたのでしょう。そして、新たな年を迎え、キラキラと輝く目をしていたので、きっと1年の締めくくりがしっかりとできていたことと思います。3学期は、学年最後の学期、6年生は48日、他の学年は51日の登校となりますので、一日一日を大切に過ごして、学年の締めくくりと次の学年への準備、特に6年生は中学校への進学準備をしっかりしてほしいと思います。



さて、始業式では、3つの話をしました。

一つ目は、1月1日に起こった地震のことです。おせち料理を食べたり、お年玉をもらったりとお正月気分になっている時に地震が起きました。豊中でも震度4、ゆっくりとした揺れがいつもより長く続いた感じがしました。その後すぐに能登半島付近を震源地として強い地震が起こったという緊急ニュースが流れ、テレビ放送は全て地震のニュースに変わりました。それから、日を追うごとに地震の被害の甚大さが伝わって来て、とても胸が痛くなる思いがしました。桜塚小学校のみなさんの中には、親せきや知り合いが被害にあわれたかもしれません。そんなことを思いながら、地震の様子を話しました。

ただ、今回の地震では阪神淡路大震災や東日本大震災で得た教訓がたくさん生かされていたように思いました。たくさん命を失った大震災でしたが、人はそこから何かを学びます。例えば、津波の恐ろしさは日本に住む誰もが知っているので、地震が起きた時から海辺に住む人々に高台へ避難するように呼び掛けたり、何よりも命を守ろうと声かけあって避難していたりする姿がテレビに映しだされていました。あのような地震が起きても冷静に行動できていた人が多かったので、多くの人命が失われたけど、失われずに済んだ命もたくさんあったようです。日頃、学校では大切な命を守るための学習をしています。それは、直接ではなくても、すべての教科において行われています。また、人とどのようにつながるかという学習や活動も日頃の生活の中で、また行事を通して学んでいます。そして、避難訓練も実施しています。予告もなくやってくる自然災害から身を守る方法は一つだけではありません。そして、その時に指示してくれる大人が必ずいるわけではないのです。だから、自分で判断して自分で行動する力をつける必要があるのです。3学期もどんなことがあっても、みんなで力

を合わせて乗り越えてほしいと願っています。

二つ目は、羽田空港で起きた飛行機事故のことです。地震が起きた次の日だったので、または悲惨な事故が…と胸を痛めた人が多かったと思います。新潟へ被災した方への避難物資を届けようとしていた海上保安庁機と北海道から羽田へ着陸した日本航空が衝突し、炎上しました。この事故では、海上保安庁機にのっていた5人の方は亡くなりましたが、日本航空にのっていた379人は全員無事に脱出できたということでした。これも、先ほどの地震と同じで、乗客員が指示に従って冷静に行動できたこと、それと、その指示を出したキャビンアテンダントのみなさんの的確な判断と誘導がたくさん命を救ったと言われています。日頃より、機長やキャビンアテンダントの人たちが、何か事故があれば迅速に対応できるように日々訓練に努めていたからだとも言われています。

最近、人間が担っていた仕事をロボットなどのAIに代えていく傾向にあります。キャビンアテンダントの仕事も、ロボットに代えてもできるのではという人がいましたが、有事の際に対応できるのは人間の力しかないと強く思った事故でした。どんな時代になっても、人間の持つ力は素晴らしいと思います。だからこそ、一人ひとり自分自身をしっかり鍛えて、人としてどんな時でも力の発揮できる人に成長してほしいと願います。

三つ目は、サンタさんから届いたプレゼントの話です。話す前から「大谷選手からのグローブ」とあちこちから聞こえてきました。みんなニュースを見ていたのかよく知っていました。学校には12月26日に届いたのですが、始業式の時にみんなと一緒に開けようと思い、段ボールのまま置いていました。



大谷選手と言えば、2刀流と言って投手と打者で大活躍する選手です。2022年にはアメリカのリーグで104年ぶりとなる、2けた勝利2けた本塁打を達成した選手なのです。

大谷選手はどのように素晴らしい功績を残せる選手へと成長したのでしょうか?その一つに、「大谷翔平 マンダラチャート」というのがあります。大谷翔平は、自分の目標を決める際にマンダラチャートに具体的な行動を書いて、目標達成に向けて努力したのです。

大谷選手の当時の目標は「ドラフト1位 8球団から指名されること」でした。その目標を達成するため①体づくり②コントロール③ボールの切れ④メンタル⑤スピード160km⑥人間性⑦運⑧変化球という8項目に分けて、どのようなことを日々努力するかを書いたのです。

例えば、体づくりの項目では「食事夜7杯、朝3杯」と書いてあります。また、運のところには「審判さんへの態度」「ゴミ拾い」「応援される人間になる」「本を読む」、人間性のところへは「感謝をする」「思いやり」「礼儀」など…具体的に実行することが書いてあり、それを意識して毎日過ごしていたのです。だから、大谷翔平という人が育ったのだと思います。年の初めに、目標を考えた人が多いと思いますが、是非参考にしてほしいと思います。

最後に6年生の児童に箱を開けてもらいました。開けてもらっている間に、今年の目標をインタビューしました。「大漢字テストで100点をとる」「絶対にあきらめないで頑張る」「今年度、6年生は大阪駅伝に出場するので区間賞をとりたい」など…素敵な目標を発表してくれました。その後、箱に入っていた大谷選手からの手紙を読みました。みんな静かに聞いてくれました。この3つのグローブ、誰もが1回は使う事ができるようにしたいと思います。

**とても素敵な3学期の幕開けでした。今年も、素敵な人として成長できるよう、互いに支えながら応援しながら、いろんなことに挑戦しましょう!**